

新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営について

準備段階

- 避難所に準備するもの
 - ・ 体温計（非接触型推奨）、アルコール消毒液、石鹸、マスク、使い捨てゴム手袋、フェイスシールド、雨合羽、ビニール袋（大）、間仕切りテープ（養生テープ）等
 - ・ 発熱者スペース用ダンボールベッド、発熱者スペース用パーテーション
 - ・ 受付時健康チェックリスト、着用・準備物チェックリスト、避難者振分け手順フロー
 - ・ 検温記入用紙、受付個票
- 避難者で持参してもらうもの
 - ・ 飲み物、食料、毛布、衣類（着替え用）、マスク（要着用）、体温計、常備薬
 - ・ ビニール袋、衛生用品（ウェットティッシュ、ティッシュペーパー、使い捨てタオル）、生理用品 等

※備蓄品には限りがあるため、避難生活に必要なものは持参するよう呼び掛ける。
- 各避難所にて事前に決めておくこと
 - 受付の位置、担当（各学区まち協と調整）
 - 避難スペースの割当（一般避難スペース、妊産婦等要配慮者用スペース、発熱等体調不良者用スペース）

※養生テープ、パーテーションにて1人/4㎡でのスペースを割当てる
 - 各避難スペースまでの移動ルート（発熱等の症状がある方との動線を分ける）

※養生テープ等を活用し、移動ルートを可視化する。

避難者受け入れ

- ① 避難者に高性能マスクを渡し着用してもらう
- ② 避難者名簿に記入してもらう
- ③ チェックリストに記入してもらう
- ④ 検温を依頼し、記入する

発熱・咳なし

- ① 予め決められた避難スペースへ誘導
※決められたルートで誘導する

発熱または咳あり

- ① 予め決められた避難スペースへ誘導
※決められたルートで誘導する
- ② 注意事項を記入した紙を渡し説明する

避難所運営

- ① 避難者には1日2回の検温を依頼する
- ② 受付個票に体温を記入する

発熱または咳あり

- ・ 複数人数の場合は、出来るだけパーテーション等で仕切る
- ・ 緊急性が高い場合は本部（救護班）へ連絡する

感染拡大防止のための対策

- ① 避難所では、原則、全員が高性能マスクを着用する
- ② 原則、4㎡/人を確保し、避難世帯間は2m程度の距離を確保する
- ③ 30分に1回を目安に、5分程度換気をする
- ④ ドアノブ、机、イス等をこまめに消毒し、衛生環境を整える
- ⑤ 収容しきれない場合は、サブの避難所を活用する
- ⑥ 避難者の体調に留意する